

第八十三卷 第二号 目次

霜野壽亮教授退職記念号

序

白豪主義終焉からシティズンシップ・テスト導入まで

—多文化社会オーストラリアのガバナンス—

戦後社会調査史における被爆者調査と記憶の表象

能動的オーディエンス論の構成

「統合」の論理から「対話」の論理へ？

—オーストラリア多文化主義研究の展開—

「トランスナショナル化」と国際政治

日本都市社会学の発展と変貌

—始動・発展・拡散—

祭祀と世界観の変容

—中国貴州省苗族の龍船節をめぐって—

感情を揺さぶる

—大森莊藏と廣松渉—

河川の比較社会学に向けて

田中重好

帝国と人種

—コンラッド『闇の奥』と人類学の黎明期—

阿久津昌三

政治社会学としてのジャーナリズム研究と「正当性モデル」

伊藤高史

マジョリティのナショナリズムと中国

—グローバル化の社会システム論—

中島祝

ポスト国民国家の空間認識

—空間戦略概念を中心として—

畑本裕介

The Structure of Religiosity: A Cross - national Comparison of Japan and Germany

MANABE, Kazufumi

脆弱な地位と社会移動

—多連関モデルによる分析—

鹿又伸夫

Changing Conceptions of Death in Japanese Society: A Sociological Perspective

SAWAI, Atsushi

霜野壽亮教授略歴・主要業績

岡原正幸

鈴木正崇

藤田弘夫

杉浦章介

塩原良和

大石裕

有末賢

関根政美

国分良成